

新 正 副 議 長 決 ま る



議 長 齊 藤 邦 明

御挨拶

第128代埼玉県議会議長に就任いたしました齊藤邦明です。御推挙いただきましたこと、深く感謝申し上げます。

過日、狭山茶振興議員連盟の活動で茶業研究所を視察いたしました。お茶の種から、新品種のお茶を登録するには、35年もの歳月がかかるとのことでした。茶畑には新品種に選ばれなかったお茶も、たくさん栽培されていました。20年後30年後に、どんな味や香りがはやるかはわからないので、それらの木も残しているとのことでした。

未来がどうなるかはわかりません。だからこそ、より良い埼玉県をつくるためには、あらゆることを想定し、備えることで、未来の可能性を広げておかなければなりません。

人口減少、少子高齢社会により、社会保障制度や地域社会の維持は難しくなっております。本県に被害をもたらすと想定される首都直下地震は、今後30年以内に70%の確率で発生するとされております。他にも、数十年先を見据えた設計が必要な課題が、本県には山積しております。

海外を含め、先進地に学び、デジタル技術を最大限に活用する必要性を感じますが、何よりも、県民の声を聞き、代弁者として活動する、議員各位のお力が必要です。二元代表制の一翼を担う議会が、その役割と責務を果たすことができるよう、公平、公正かつ円滑な議会運営に向け、微力を尽くしてまいります。

議員の皆様、そして大野知事をはじめ執行部の皆様には、より一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



副議長 松 澤 正

御挨拶

このたび議員の皆様のお推挙により、副議長という要職に就かせていただきました松澤正でございます。

大変光栄でありますとともに、その重責に、身の引き締まる思いでございます。

我が国では、人口減少・少子高齢化が急速に進んでおり、安心して出産・子育てできる環境の整備などの少子化対策、高齢者が生き生きと過ごせる社会づくりを進めていかなければなりません。

また、経済に目を向けますと、海外情勢を背景にしたエネルギー価格や物価高騰の継続、建設・物流・運輸等の業界の担い手不足の深刻化が懸念されるところでございます。

社会の状況は常に変化しております。我々県議会は、アンテナを高く張って社会の変革を求めるニーズを敏感に捉えるとともに、県民の声に耳を傾け、積極的に課題に取り組み議論を尽くしていく必要があります。

そして、執行部のチェック機関としてのみならず、社会状況に即した政策提案を行っていくことが大変重要であります。

今後は、卓越した見識を持ち経験豊かな齊藤議長のもと、公正かつ円滑な議会運営に努め、県政の更なる発展のため、全力を尽くす決意でございます。

議員の皆様並びに大野知事をはじめ執行部の皆様には、格別の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。副議長就任の挨拶とさせていただきます。